

地域振興推進費事業計画・自己評価書(平成30年度実績)

提出区分	実績				
整理番号	10	課題区分	C	佐久地域振興局	
実施機関	佐久地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名	ポールを使ったウォーキングによる健康長寿をめざすヘルスツーリズムの仕組みづくり			電話	0267-63-3158
			E-mail	sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	地域の強みである「ポールメーカーの集積」、「充実した保健・医療体制」、「県内屈指の観光地」等が有機的に連携した「ポールを使ったウォーキング」によるヘルスツーリズムに取り組み、観光客が健康長寿を学ぶことができる地域づくりをめざす。			
	現状と課題	国産ポールメーカーの集積等、他地域に比べ優位な状況にあるものの、健康長寿や地消地産を活かした地域的な活動が少ないことから、地域の強みを相互に連携した取組が必要。			
	内容 (変更後の内容)	ヘルスツーリズムの推進に向けた基盤づくり ○活動量の測定や健康状態の変化等をどのように把握し活用できるかを構築するため、モニターを募集して継続的な運動による効果測定を実施。 ○また、ウォーキングコースや受入可能施設等の条件を検証し、ヘルスツーリズムに必要な最適環境の条件を見出す。			
	事業期間	平成30年4月		～	平成31年3月
	成果目標	モニターを募集してポールを使ったウォーキングによる効果測定を実施しエビデンスを取得する。			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	ポールを使ったウォーキングによる健康への効果の測定	活動量の測定や健康状態の変化を把握するなど健康への効果測定を委託により半期分(6カ月分)の測定を実施	664,200		
	合計		664,200		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	○ポールを使ったウォーキングによる健康増進効果について、ポールdeアクティブウォーキング技術研究会に調査を委託。 ○平成30年8月から被験者53名を対象にモニター調査を開始、10月22日、平成31年1月22日に被験者を集めて、効果の測定を実施した。 ○1月22日の効果測定までの結果を分析し、6か月(半期分)の健康影響評価の中間報告としてまとめた。		○健康影響評価では、「体の痛み」・「活力」など一部の健康に関する指標に改善が見られ、ポールを使ったウォーキングを活用したヘルスツーリズムの効果が期待できることがわかってきた。		○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	6か月間の調査で健康への好影響の傾向がみられるものの、測定値への季節要因(冬期は健康の評価が低迷する傾向あり)の影響があることから、平成31年8月までモニター調査を継続し、1年間の効果を測定する。その結果を踏まえてヘルスツーリズムへの展開に向けたセミナーを開催する。				